

東日本大震災を忘れない
チャリティーコンサート

早川りさこ 植草ひろみ

Sound of the Sky

2018年4月7日(土)

14時開演 (13時30分開場)

- 会場：藤沢リラホール
(藤沢市鵠沼石上1-1-15-5F)
- 料金：一般：2,000円
学生：1,000円
- 主催・お問合せ・お申込み：
特定非営利活動法人 NPO サポーターズ
☎0466-86-7501

プログラム

白鳥『動物の謝肉祭』より
花は咲く
ノクターン 作品9-2
鳥の歌

サン＝サーンス
菅野よう子
ショパン
カタロニア民謡

他

(曲日は変更になる場合があります)



早川りさこ&植草ひろみ

お互いの父親同士が高校の同級生であった事から、幼少より家族ぐるみの付き合いをし、同じピアノの先生の元で学ぶ。その後それぞれチェロとハープの道を歩み始め、東京藝術大学附属音楽高校、同大学に同級生として進み、留学先もアメリカを選びルームシェアをしながら研鑽を積んだ。

高校生のころから、機会あるごとに幼なじみデュオとして演奏、プロの演奏家になってからも数多くのデュオコンサートを重ね、2017年1月5日には東京文化会館小ホールでコンサートを行い、好評を得た。

癒しの音楽として定評がある二人の演奏は、ハイレゾ配信アルバム『Song of the Heart』『Sound of the Sky』で聴ける。『Sound of the Sky』はCDでもリリースされている。



早川りさこ ハープ

オフィシャル・サイト : <http://risakohayakawa.web.fc2.com/>

NHK交響楽団ハープ奏者。東京藝術大学卒業後、第3回日本ハープコンクール、及び第2回アルピスタ・ルドヴィコ・スペイン国際ハープコンクールにて優勝。ソロ、室内楽での活動の他、小澤征爾氏率いるサイトウ・キネン・オーケストラへの参加、また、国内の主要なオーケストラにソリストとして招かれ、リーパーマン、ヒンデミット、アルウィンなどの協奏曲の日本初演を行うなど活躍の場を広げてきた。

2013年にはアカデミー賞、グラミー賞受賞で知られる作曲家タン・ドゥン氏の「13のマイクロフィルムとハープのための協奏曲」を作曲家自身の指揮で世界初演した。(この曲はNHK交響楽団、ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団、フィラデルフィア管弦楽団の共同委嘱作品である) 現在、東京藝術大学、及び国立音楽大学にて後進の指導にもあたっている。

植草ひろみ チェロ

オフィシャル・サイト : <http://www.U1.sokei.co.jp/Hiromi>

東京藝術大学卒業後、10年間新日本フィルハーモニー交響楽団に在籍した。

5枚のCDと3つのハイレゾ配信アルバムがリリースされ、その内容は多岐にわたっている。自身のライフワークであるアルゼンチンの作曲家ピアソラの曲集『Cafe1930』、音楽誌を中心に高い評価を得た『いつかの美しい日のように』(共演:早川りさこ)、作曲家でピアニストの中村由利子とのユニット「リベロバ」による『This is Liberoba』、奇跡のチェロカルテット『超チェロ組』などである。

国内外のアーティストとの共演も多く、アンドレ・ギャニオン、久石譲、ペギー葉山、中村雅俊、江原啓之など各氏のコンサートやレコーディングに参加している。ラジオのパーソナリティ、後進の育成、またベジタブル&フルーツアドバイザーの資格を持ち、活躍の幅を広げている。



時を経て・・・幼なじみの二人が紡ぐ天空の調べ

『Sound of the Sky』 植草ひろみ & 早川りさこ

時に優しく、時に力強い二人の息のあった演奏を、
ホールの響きも一つの楽器となりサポート。

天から音が舞い降り、また駆け上るような感覚を味わえます。

「サウンド オブ ザ スカイ」まさに天空の調べを、その耳で感じてください!!

1. ショパン: ノクターン 作品9第2番
2. マスカーニ: 闘奏曲 歌劇『カヴァレリア・ルスティカーナ』より
3. ピアソラ: カフェ1930
4. カッチーニ: アヴェ・マリア
5. マスネ: タイスの恋(想曲)
6. ヒナステラ: 忘れる木のうた
7. ガリアーノ: セーナのブルース
8. フォーレ: 夢の後に
9. マイヤース: カヴァティーナ 映画『ディア・ハンター』より
10. トゥルニエ: ノクターン 作品21
11. ギャニオン: 明日



CD 8ページブックレット(曲目解説+秘蔵写真)
HDI 80004 2,500円(税込)
ハイレゾサラウンドでも配信中!!